

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-5 居住環境づくり
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	建築住宅課長 藤原 博	電話番号	0852-22-5216
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	住まい情報提供事業
目的	(1) 対象 住宅の建築・リフォーム等を計画している県民及び県外在住のUターン希望者 (2) 意図 個々の多様なニーズにあった住まい・暮らしを実現する。
事業概要	島根県建築住宅センターへ住情報の提供窓口を一元化し、定住財団の定住情報と共に県内外へ以下の情報提供等を行っている。 ①県内在住者向けに住まいづくりに関する情報、公的賃貸住宅の情報提供 ②県内在住者向けに住まいに関する相談窓口を設置し、具体の相談への対応 ③県外在住者向けにUターン住宅の情報、相談員に関する情報の提供

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	インターネットアクセス件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		24,000	25,000	26,000	27,000	
式・定義	実績アクセス件数/目標アクセス件数		実績値	23,019	26,334	31,289	40,008		件
			達成率		109.70	125.20	153.90		%
指標名	式・定義	インターネットアクセス件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	5,521	5,440
うち一般財源(千円)	2,761	2,720

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

Uターン向けの情報提供と住まいづくりの情報を1元的に行ったこと、物件の所在地をGoogle地図にリンクさせて解りやすくしたことでアクセス数も増加している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

定住財団のホームページのリニューアルに併せて、「すまい」というバナーが追加され、アクセス数が増加した。
住まいづくりの情報内容の見直しと講習会等でのPRによりアクセス数が増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
情報量の増加に伴い、ウェブサイトの読み込み速度が遅くなっていること。
- ②困っている状況が発生している「原因」
ホームページ構成が煩雑化していること。
- ③原因を解消するための「課題」
閲覧者の要求レベルに応じた階層的なホームページ構成にしていくこと。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

閲覧者のニーズを把握し、求めているページへのアクセスを容易にするため、見やすさを重視した構成にすること。
また、公表している内容を精査して、ウェブサイトの読み込み速度を上げる。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）